

中部沿海州沖合底曳網新漁場開発調査

担当技師 村上圭郎
赤羽光秋

I 目的

本調査は昭和37年以来継続調査として冬期間に於ける中部沿海州の底曳網漁場を開発し、漁場の環境、底曳資源の実態等を明らかにするためにおこなった。

II

1. 調査船 幸洋丸(121.22本 400PS)
2. 乗組員 船長以下 19名
3. 調査期間 昭和39年11月16日～同年12月12日
4. 調査海域 北緯42度30分の線以北、北緯50度の線以南、北緯42度30分、東経137度の線点と北緯47度東経142度の点を結ぶ線以东の海域を除く日本海の海域
5. 調査器具及び機械 37年度参照
6. 漁具 中型機船底曳網
漁具の構造 37年度を参照
7. 調査実施方法

III 調査経過

調査船幸洋丸は、昭和39年11月16日、稚内を根拠港として、北部沿海州の底曳網新漁場開発に従事するべく青森を出港した。同月18日に稚内に入港し、同地、稚内水試、地元組合より最近の状況を聴取後、20日同港を出港し調査目的地に向った。途中樺太泊沖合、野田沖合(47°29'N, 141°36'E)に於いて4回操業したが曳網可能回数3回。調査水深140m～280mで行い、1曳網当り漁獲量は86.2kgで、タラ、ヒレグロ、ホツケ、その他のカレイ類が主な魚種であつた。同海域の調査を同日で終り北上したが折から発達した低気圧に遭遇し、瞬間最大風速27m、気圧988mb気温-8℃となり操業不能のため25日迄、止むなく沖合に投錨仮泊した。北上の途中附近海域の海底状況を魚探により探索した結果、大きな起伏はないが、所々に岩礁が散在している。25日07時30分より49°-19'N, 141°00'Eの海域で第5回目の投網を行ない、翌26日迄4回操業したが、不能回数3回で各回共、破網し、かなり大きな玉石が入網している。この漁場の入網状況は一曳網当り平均漁獲量90kgで少なく、魚獲はタラ33.3%, アカガレイ16.3%, ヒレグロ16.3%, カジカ16.3%となつている。48°N以北から50度以南にかけての北部沿海州は底曳漁場としては極めて底質の状況が悪く、破網が多い上に曳網可能の場合でも一曳網当り漁獲量が少ない。この時期は主要魚種がタラなので底曳網よりむしろ底延縄、底刺網等の方が適切な漁具がとも思はれる。

前述のような調査結果のため、同海域の調査を中止し、南下途上でレーダー魚探故障のため27日再度稚内に入港し、修理後12月5日44°-45°N海域に向けて出港した。12月6日に漁場到着後調査を開始し、11日迄16回操業を行ない一曳網当り平均漁獲量368kg、総漁獲量5520kgをあげた。尚曳網不能回数は1回で魚種組成は北部海域と異なり、スケトウタラ、34.5%, ホツケ53.5%, タラ5.4%, ハツメ3.8%を示し、ホツケ、スケトウタラの漁獲が主体となつた。

12月11日06時第26回目の試験操業を行う寸前ソ連監視船に遭遇したため止むなく調査を断念し本年度の調査を終了した。

Ⅳ 調 査 結 果

延投網回数	25回
曳網可能回数	21回
曳網不能回数	4回
総漁獲量	5704Kg
一曳網当り平均漁獲量	271.6Kg
総水揚金額	314,104円
水揚港	青森

Ⅴ 企業の採算性についての考察

昨年に引続いて中部沿海州から北部沿海州、タツタン海湾にかけての新漁場を開発すべく調査を実施したが、前述の如く北緯48度から北緯50度に至る海域の海底は非常に岩礁や玉石の存在が多いため、曳網は殆んど不可能とみてよく、企業的には難しいものと思はれる、しかし、底延縄、底刺網等で行なうならタラを主体とした漁場として利用価値は充分あると思はれる。

調査の後半は北緯44度から45度に漁場を移したが37年38年よりホツケの入網率がよく平均47%と増加しており、資源量の増加の一端が漁獲面にも反映されているようで今後の調査により一層明らかにすることが出来ると思う。本県の底曳業者にとつて近距離で且、魚価単価の高いホツケが多獲される漁場をこの調査の継続によつて開発出来るように努めてゆかねばならないと考える。

39年度

月 日		11月21日	11月25日	1月25日	12月6日	12月8日	12月9日	12月10日
投網回数(不能)		4(1)	2(2)	3(2)	4	1(1)	4	7
漁	緯 度	47°29' 41'	47°17' 19'	48°33' 58'	44°26' 40'	44°17' 136°22'	45°20' 23.5	45°18.5 23.0
	経 度	141°22' 36'	141°00' 15'	141°00' 140°53'	141°32.5' 37.0'	136°22'	137°33.0 35	137°31' 38
場	水 深 m	170~230	114~217	181~276	272~300	266	192~218	212~288
	底 質	M	R. St	St	M		M	M
気 象	天 候	C	C	B	R. S	B	B	B
	風 向	SSE	N~NW	NNW	NE	NW	WNW	NW
	風 力	3	6	5	3	6	4	3
	気 温		-7.0	-5.5	-4.0	-8.0	-2.0	-5.0
	気 圧	998	1003	1013	1003.0	1013.5	1013.0	1015.0
水温	0 m	4.2	2.0		4.2	3.8	3.7	3.0
曳 網 方 向		N	SE	SSW	SW		SE	SE
漁 獲 物 (kg)	すけとうだら				120		555	1,230
	ま だ ら	195		45	0		180	90
	は つ め				150		40	
	あかがれい			15	15		ごまえ15	
	うろこめがれい	15						
	ひ れ ぐ ろ	90		15	30			75
	か じ か			15				15
	ほ つ け	45			600		480	1,875
	計	345		90	945		1,290	3,285
備 考		39年度第一次	堤がかりのため香無		(各回共網り一部損傷底質 小回石泥りの泥)	中環よりと荒天のため		

140°

操業図 (北部沿海州)

(39. 11. 16~12. 12)

